様式第１６（第４０条関係）（第一面から第三面まで）

|  |
| --- |
| 認定申請書  申請年月日　2025年11月12日    　　経済産業大臣　殿  （ふりがな）かぶしきかいしゃじぇいてくとぷれしじょんべありんぐ  一般事業主の氏名又は名称 株式会社ジェイテクトプレシジョンベアリング  （ふりがな）きむら　つとむ  （法人の場合）代表者の氏名 木村　勉  住所　〒594-1157  大阪府 和泉市 あゆみ野２丁目８番１号  法人番号　5120101046413  　情報処理の促進に関する法律第２８条に基づき、情報処理の促進に関する法律施行規則第４１条（①第１号、②第２号）に掲げる基準による認定を受けたいので、下記のとおり申請します。 |
| 記  情報処理システムの運用及び管理に関する指針に関する取組の実施状況  　(1) 企業経営の方向性及び情報処理技術の活用の方向性の決定   |  |  | | --- | --- | | 公表媒体（文書等）の名称 | ①　ＤＸ（デジタル化）取組みのお知らせ  ②　社名変更のご案内  ③　「経営理念」「企業行動基準」 | | 公表日 | ①　2025年 7月15日  ②　2023年 3月15日  ③　2023年 4月 1日 | | 公表方法・公表場所・記載箇所・ページ | ①-1　当社ホームページに掲載 　見出し「当社を取り巻く環境」「ＤＸ（デジタル化）取り組みお知らせ」「トップメッセージ」  　https://www.precision.jtekt.co.jp/wp/wp-content/uploads/2025/07/7729f7768ec3a9385de6d98236fa015d.pdf  　当社ホームページに掲載　見出し「当社を取り巻く環境」　記載ページ：Ｐ.1目上段  ②　当社ホームページに掲載 　見出し「社名変更のご案内」  　https://www.precision.jtekt.co.jp/wp/wp-content/uploads/2023/03/cd6c0f17219c8bf7704428f3f125e463.pdf  　当社ホームページに掲載　見出し「社名変更のご案内」  ③　当社ホームページに掲載 　見出し「経営理念」「企業行動基準」  　https://www.precision.jtekt.co.jp/corp/philosophy.html  　当社ホームページに掲載　見出し「経営理念」「企業行動基準」  ①-2　当社ホームページに掲載 　見出し「当社を取り巻く環境」「ＤＸ（デジタル化）取り組みお知らせ」「トップメッセージ」  　https://www.precision.jtekt.co.jp/wp/wp-content/uploads/2025/07/7729f7768ec3a9385de6d98236fa015d.pdf  　当社ホームページに掲載　見出し「ＤＸ（デジタル化）取り組みのお知らせ」　記載：1P目上段、2P | | 記載内容抜粋 | ①-1　ジェイテクトグループ方針にも掲げているデジタル化を中心としたＤＸについて、当社の取組み状況をお知らせいたします。  今後も定期的に、情報を配信してまいります。  「当社を取り巻く環境」  軸受は小さくても大きな価値を持ち、あらゆる機械の基本構成要素となっている重要な精密部品です。  主力である自動車産業においては 「100年に一度の大変革期」 を迎えており、スピーディーにお客様要求に対応することが急務となっています。  この大変革期を企業の成長と捉え、デジタル技術の活用を中心にＤＸを推進し、ソリューションプロバイダーズへの変革および創造と挑戦で  新たな価値を創出し、軸受製造の Leading Company を目指します。  ②　この度、ジェイテクトグループが事業ブランドを”JTEKT ”に統一するにあたり、グループの一員であるダイベア株式会社は、  本年４月１日をもって社名を変更することとなりましたので、お知らせ致します。  今回の変更により、各社の強みを結集し、One JTEKTとして、「グループ内シナジー」を創出し、良品廉価な商品・サービスを提供することで、  「地球のため」「世の中のため」「お客様のため」に貢献してまいります。  今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますようにお願い申し上げます。  まずは、略儀ながら書中をもってご挨拶申し上げます。  ③　「経営理念」  ジェイテクトグループ方針として下記基本理念が展開されており「地球のため、世の中のため、お客様のため」をメインに全従業員で  取り組んでいます。  ジェイテクトの基本理念  　私たちは、「人の命」すなわち「安全第一、品質第二」にこだわり、「No.1 & Only One」を目指して、  　地球に・世の中に・お客様に貢献し続けます。  「企業行動規準」  　１．遵法精神に基づき、公正、透明、自由な競争ならびに適正な取引をおこなう。  　２．マーケットから発想し、最高の品質・技術・サービスを提供し、お客さまの満足と信頼に応える。  　３．地球環境問題への取り組みは、企業の重要な使命のひとつであることを深く認識し、自主的・積極的におこなう。  　４．従業員の人格と個性を尊重し、可能性と働きがいを大切にする職場を作り、一人ひとりの豊かさを実現する。  　５．株主はもとより、広く社会とのコミュニケーションを図り、企業情報を公正に開示する。  　６．「良き企業市民」として社会貢献活動を積極的に推進する。  　７．国際ルール、各国各地域の法律・文化・慣習を尊重しその発展に貢献する。  ①-2　ジェイテクトグループ方針にも掲げているデジタル化を中心としたＤＸについて、当社の取組み状況をお知らせいたします。  今後も定期的に、情報を配信してまいります。  ■デジタルでの未来創造  　デジタル化の推進で企業価値を向上させ、明るい未来を描く  　「こわす・つなぐ・変える」  　・非効率/属人的な仕事をこわす  　・人・データ・アイデアをつなぐ  　・従来のプロセスへの拘りをこわす  　・社内外のデータとデータをつなぐ  　・”性善説”に頼った安心・安全意識をこわす  　・ジェイテクトの仲間ひとりひとりが「最後の砦」となりサプライチェーンをつなぐ  　・”個別最適”、”個別標準”による人に頼った安全のしくみを変える  ■デジタル化イメージ  　JPB各部門のデジタル化イメージ | | 意思決定機関の決定に基づいていることの説明 | ①　役員承認を得て会社ＨＰ公表と社内お知らせメールにて展開。  ＤＸ推進については2025年4月25日取締役会に上程し承認を得る。  ②　ジェイテクトグループが事業ブランドを“JTEKT”に統一するにあたり2023年4月1日に社名を変更。  上記決定事項は2023年3月14日取締役会の審議事項として出され役員承認を得た上で実施。  ③　ジェイテクトグループが事業ブランドを“JTEKT”に統一するにあたり2023年4月1日に社名を変更。  同時に「経営理念」「企業行動規準」も展開。  上記決定事項は2023年3月14日取締役会の審議事項として出され役員承認を得た上で実施。 |   (2) 企業経営及び情報処理技術の活用の具体的な方策（戦略）の決定   |  |  | | --- | --- | | 公表媒体（文書等）の名称 | ①　ＤＸ（デジタル化）推進に向けた体制公表　　　ＤＸ（デジタル化）推進に向けた活動　◇事例紹介◇  ②　ＤＸ（デジタル化）推進のための環境整備、 取組みアイテム、人財育成戦略に係る指標 | | 公表日 | ①　2025年 8月21日  ②　2025年 9月 4日 | | 公表方法・公表場所・記載箇所・ページ | ①　当社ホームページに掲載 　見出し「ＤＸ（デジタル化）推進に向けた活動」　◇事例紹介◇　ワーキンググループの取組み　　記載：1P目下段〜2P、3P  　https://www.precision.jtekt.co.jp/wp/wp-content/uploads/2025/08/787554ef20503b68b30ea4e61f14b770.pdf  　当社ホームページに掲載　見出し「ＤＸ（デジタル化）推進に向けた活動」　　◇事例紹介◇　　記載ページ：Ｐ、1（下段）、2、3  ②　当社ホームページに掲載　　見出し「ＤＸ（デジタル化）推進のための環境整備、 取組みアイテム、人財育成戦略に係る指標」　ＤＸ（デジタル化）中期計画　記載：1P目上段　　●中期計画　ロードマップ　記載：1P目下段  　https://www.precision.jtekt.co.jp/wp/wp-content/uploads/2025/09/c92bcffe399fe7301049e0927f6eedf0.pdf | | 記載内容抜粋 | ①　ワーキンググループの取組み  「ＤＸ推進においては、現場の知見と創意工夫が何よりも重要です。当社では、部門横断型のワーキンググループを立ち上げ、  現場起点での課題解決や業務改善に取り組んでいます。ここでは、ＤＸ認定取得に向けた取り組みの一環として、実際に  進行中のプロジェクト事例をご紹介します。」  【RFIDを活用しての固定資産管理】  　機械設備の管理用銘板をICタグにし、RFIDを活用  　・棚卸作業時間が大幅に短縮  　・棚卸結果をデジタルデータで送信するため、紛失リスク解消  　・紙の回覧にかかっていた時間も削減し、情報共有がスピーディーに  　・データ管理により不正や誤登録の防止が強化  　・管理の信頼性が格段に向上  【社内デジタルワークフローシステムの導入】  　業務における申請～承認/決済業務にデジタルワークフローシステムを導入  　・申請から文書保管までをデジタル化し、ペーパーレス化  　・承認・決済スピード  　・承認・決済状況の可視化  　・保存文書の検索性アップ  　・決済済み文書の保管スペースの有効利用  【生産工程トレサビリティ強化】  　各生産工程流動 ⇒ 入庫 ⇒ 出荷までの情報をQRコードの読み取りにより データベース化し一元管理化  　・各工程情報の追跡、遡り調査・分析が正確かつスピーディに実施可能に  　・各工程の流動型番がリアルタイムで管理可能に  【材料・資材発注のWEBシステムの仕入先展開】  　WEBシステムを活用し発注・納品情報をリアルタイムで材料・資材の仕入先と共有  　・納品、着荷情報をデータ連携し発注、検収業務を効率化  【生産管理板のデジタル化】  　生産管理板を紙からタブレットに切り替え、データをデジタル化  　・ライン内でのタブレット入力により、リアルタイムにクラウドへデータをアップロード可能  　・データが即時共有され、管理者・関係者間でタイムラグのない判断が可能  　・データの転記作業が不要となり、工数大幅削減  　・手書きや手入力に伴うヒューマンエラーを抑え、データの正確性が向上  　・過去の実績データを簡単に検索・分析できるようになる  　・紙の保管、回収、整理が不要となり、管理コストとスペース削減 | | 意思決定機関の決定に基づいていることの説明 | ①　2025年4月25日　取締役会にて上程し承認を得る。　2025年5月13日　社内各部門長へ詳細説明実施。  2025年8月21日に会社ＨＰ公表。　取締役会上程時資料内には固有名詞での記載も有った為、ＨＰ用は一部修正して記載。  ＤＸ推進事例紹介について社内ワーキンググループより役員への定期報告会内にて役員承認を得て会社ＨＰ公表と社内お知らせメールにて展開。  ◇事例紹介◇  ワーキンググループの取組み事例で有る完了案件【RFIDを活用しての固定資産管理】【社内デジタルワークフローシステムの導入】については  デジタルワーキンググループから役員への定例活動報告会内で説明し承認を得て稟議書回覧により受理され本採用実施。  ②　ＤＸ中期計画（大計画）とスマートファクトリー構想については2025年4月25日　取締役会にて上程し承認を得る。  中期計画ロードマップについて毎週定例の役員連絡会にて報告、承認を得る。（ＨＰ掲載版は詳細計画部分について機密情報上削除。） |  1. 戦略を効果的に進めるための体制の提示  |  |  | | --- | --- | | 戦略における記載箇所・ページ | ①　ＤＸ（デジタル化）推進に向けた体制公表　　　ＤＸ（デジタル化）推進に向けた活動　◇事例紹介◇  　当社ホームページに記載　見出し「ＤＸ（デジタル化）推進に向けた体制公表」　記載ページ：Ｐ.1 | | 記載内容抜粋 | ①　■デジタル推進委員会■  当社は、軸受製造業としての技術力と経験を礎に、製造業の未来を切り拓くためのデジタル変革に取り組んでいます。  急速に進化する市場環境や顧客ニーズに柔軟かつ迅速に対応するため、ＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）を  経営の重要課題と位置づけ、全社的な推進体制を構築しました。  ＤＸ認定制度の取得に向け、以下の通り社内体制を整備し、持続可能な成長と価値創造を目指してまいります。  ◆推進体制  デジタル推進委員会・・・・・・・・・・・・・プロジェクトオーナー/最高DX責任者（社長）  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　プロジェクトサブオーナー/副DX責任者（役員）  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　プロジェクトリーダー/推進責任者（生産技術部）  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　⇒デジタル化の策定と達成状況に係る指標とマネジメント  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　プロジェクトメンバー/各機能部内より選定  　デジタル推進ワーキンググループ・・・・・・〈担当〉経営管理部システム課、生産技術部、グループメンバー  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　・デジタル推進テーマの具現化　・デジタルツールの展開　・1回/月　定例会  　環境整備・・・・・・・・・・・・・・・・・〈担当〉生産技術部、経営管理部システム課  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　・ネットワーク/コンピューター　・セキュリティ  　人財育成・・・・・・・・・・・・・・・・・〈担当〉経営管理部システム課、生産技術部  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　・デジタル教育　・人財育成　・デジタルリテラシー向上、デジタル推進人財育成  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　人財育成計画策定と実践  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　デジタル祭りの展開  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　情報セキュリティの知識習得  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　市民間発の促進サポート |  1. 最新の情報処理技術を活用するための環境整備の具体的方策の提示  |  |  | | --- | --- | | 戦略における記載箇所・ページ | ②　ＤＸ（デジタル化）推進のための環境整備、 取組みアイテム、人財育成戦略に係る指標  　当社ホームページに掲載　見出し「ＤＸ（デジタル化）推進のための環境整備、取組みアイテム、人財育成戦略に係る指標」  記載ページ：1P目上段 | | 記載内容抜粋 | ②　製造業から“デジタル企業”へ  当社では、製造現場の改善活動を起点に、情報処理技術を活用したデジタル化を本格的に推進しています。  2024年には「デジタルワーキンググループ」を立ち上げ、各部門から若手メンバーが集まり、現場に密着した改善活動を通じて、  身近な業務からデジタル化をスタートしました。  2025年には「デジタル推進委員会」を設置し、【ジェイテクトプレシジョンベアリングのＤＸとは】  「ITを使い、ラクして、楽しく、格好よく、儲かる体質を作ること」を掲げＤＸ認定制度の取得を目指すとともに、製造現場の  デジタル化を加速。　紙の日報をデジタル化し、生産数の自動計上と連携させることで、リアルタイムな生産管理化を進めています。  作業手順書のタブレット化、入出庫管理のＱＲコード化など、現場の業務に最新の情報処理技術を積極的に取り入れています。  全社的なデータ活用へ  これらの取り組みは、現場改善にとどまらず、今後は部門間の情報連携や経営判断へのデータ活用へと展開していきます。  全社的なデータ基盤の整備を進め、より迅速で柔軟な意思決定を支える環境づくりを目指しています。  スマートファクトリー構想  さらに、AIやIoT技術の導入による「スマートファクトリー化」も構想中です。デジタル人材の育成と技術基盤の強化を進め、  製造業の枠を超えた“デジタル企業”への進化を目指します。 |   (3) 戦略の達成状況に係る指標の決定   |  |  | | --- | --- | | 公表媒体（文書等）の名称 | ①　ＤＸ（デジタル化）推進のための環境整備、 取組みアイテム、人財育成戦略に係る指標 | | 公表日 | ①　2025年 9月 4日 | | 公表方法・公表場所・記載箇所・ページ | ①　当社ホームページに掲載　　見出し「ＤＸ（デジタル化）推進のための環境整備、 取組みアイテム、人財育成戦略に係る指標」　ＤＸ（デジタル化）中期計画　記載：1P目上段　　●中期計画　ロードマップ　記載：1P目下段  　https://www.precision.jtekt.co.jp/wp/wp-content/uploads/2025/09/c92bcffe399fe7301049e0927f6eedf0.pdf  　当社ホームページに掲載　見出し「ＤＸ（デジタル化）推進のための環境整備、取組みアイテム、人財育成戦略に係る指標」　記載ページ：1P目中段 | | 記載内容抜粋 | ①　●中期計画をロードマップでＨＰに掲載  　2024年〜2030年までの計画  　最終目標は「業務プロセスと設備がデジタルでつながり、お客様から信頼される生産工場」を目指す。 |   (4) 実務執行総括責任者による効果的な戦略の推進等を図るために必要な情報発信   |  |  | | --- | --- | | 発信日 | ①　2025年 7月15日 | | 発信方法 | ①　ＤＸ（デジタル化）取組みのお知らせ  　当社ホームページに掲載 　見出し「当社を取り巻く環境」「ＤＸ（デジタル化）取り組みお知らせ」「トップメッセージ」  　https://www.precision.jtekt.co.jp/wp/wp-content/uploads/2025/07/7729f7768ec3a9385de6d98236fa015d.pdf  　当社ホームページに掲載　「ＤＸ（デジタル化）取組みのお知らせ」■トップメッセージ■　（当社取締役社長が発信）記載ページ：Ｐ.1下段 | | 発信内容 | ①　”絆”を大切に、「人づくり」「価値づくり」「モノづくり」を通じて、社会に貢献できる商品を提供  薄肉や高精度の軸受を既存の設備を活用し、生産および設計の技術力を最大限に活かして、付加価値の高い軸受を安価に提供すること  （小さな投資で大きく稼ぐこと）が強みであり、他社を凌駕するものであります。また、軸受の特性である低トルク化や組み付け後の振れ抑制、  軽量化などは、今後のカーボンニュートラル社会に必ず貢献できるものです。  当社を取り巻く環境は、予想をはるかに超えたスピードで変化しています。このような状況の中、社会の要請に応えていくためには、  強みをさらに伸ばし、変化に柔軟に対応していかなければなりません。  働き手不足、関税の引き上げ、マーケットなどの環境変化に対しては、標準のシステム化やムダな業務の廃止など、DXのために重要な  要素であるデジタル化をスピード上げて取組み、一日も早くデジタル人財を育てていくことで、対応できると確信しております。  現状、属人化している業務や製造履歴を管理するために膨大な資料が必要となっていることが、課題となっています。  競争環境の変化に対応するため、2025年から本格的にＤＸに取組み、業務プロセスの変革（誰でも容易にできる業務へ）と品質管理を  重視したトレーサビリティ強化を目指すとともに、スマートファクトリー化を進めることで、サプライチェーン全体の最適化を図り、  お客様満足度の向上を実現し、社会に貢献していきます。  事業のパフォーマンスを最大限に引き上げ、今以上に社会により良い商品を提供し続け、新たな価値創造とさらなる成長と発展に向け、  全員参加で取組んでまいります。  株式会社ジェイテクトプレシジョンベアリング  取締役社長 　木村 勉 |   　(5) 実務執行総括責任者が主導的な役割を果たすことによる、事業者が利用する情報処理システムにおける課題の把握   |  |  | | --- | --- | | 実施時期 | 2024年 7月頃　～　継続実施中 | | 実施内容 | 「DX推進指標」を用いて課題把握を実施し、IPAの入力サイトより提出済み。 |   　(6) サイバーセキュリティに関する対策の的確な策定及び実施   |  |  | | --- | --- | | 実施時期 | 2013年 6月頃　～　継続実施中 | | 実施内容 | サイバーセキュリティに関する対策の的確な策定及び実施について  ◆サイバー攻撃等によりコンピュータや通信装置が利用停止に陥ると、経営上の重大な問題となる。  ➀ジェイテクトグループ情報セキュリティに関する方針（ポリシー）の策定と定期的な理解活動の実施  　適切な取り組みができるように経営層も含めて、職務執行や資源配分の実施でき、  　サイバー攻撃を受けない、回避するための施策に資源（人・モノ・金・情報）が配分している。  　ジェイテクトプレシジョンベアリングの情報セキュリティに関する方針（ポリシー）はHPで公開　※１  ➁ サイバー攻撃に備えたコンピュータなどへの脆弱性対策や最新のアップデート適用の実施  　・脆弱性対応を残置すると、サイバー攻撃に遭遇するリスクが非常に高くなることを踏まえて、取り組み。  ◆ファイアウォール等  　ファームウェア（制御プログラム）が常に最新版にアップデートしている  　脆弱性のある状態（ソフトウェアサポート切れ等）を放置して、使用継続していないか  ◆VPN装置等（インターネット上に仮想の専用線を構築する専用ハードウェア）Virtual Private Network  　ファームウェア（制御プログラム）が常に最新版にアップデートしている  　脆弱性のある状態（ソフトウェアサポート切れ等）を放置して、使用継続していないか  ◆サーバーなど  　基本ソフトウェア（Windowsサーバーなど）が常に最新版にアップデートしている  　脆弱性のある状態（ソフトウェアサポート切れ等）を放置して、使用継続していないか  ◆パソコン、スマホなど  　ＯＳなどアップデーが適用している（パソコンではWindowsアップデートなど）  ◆基幹システム、利用アプリケーション、ソフトウェアなど  　該当ソフトウェアの最新版が常に適用している  ③ サイバー攻撃を受けたり、障害が発生した場合に備えての対策実施  ◆ファイアウォールなどの管理は、専門ベンダー（JBCC（株））に委託して、24H365日管理実施。  　万が一のインシデント発生時には、情報セキュリティ部門へ通知実施とインシデント案件の遮断実施。  ◆パソコンなどのエンドポイント対策は、Cybereasonという次世代エンドポイントを導入実施。  　ウィルス感染対策を実施するとともに、万が一のサイバー攻撃などのインシデント発生時には、  　ログが追跡できるしくみを導入して、被害を最小限にするための取り組み実施。  ④ パスワードは定期的な変更を実施  ◆パソコンログオンパスワードなどは3か月に1回、サーバーは定期的に随時変更実施。  ⑤サイバー攻撃などにより、基幹システムやサーバーどが利用できない事態を想定した訓練の取り組み  ◆年度計画に基づいて、万が一の事態に対応できるように取り組み  ⑥ゼロディ攻撃に備えて、万が一の事態発生しても攻撃検知、遮断できるように取り組みを実施しています。 |   （注）(1)～(3)の取組において公表先のURLを提出しない場合は次の①の書類を、(4)の取組において情報発信内容を確認できるウェブサイトのURLを提出しない場合は、次の②の書類を添付すること。また、必要に応じて③、④の書類を添付できる。  ①　(1)～(3)の取組における、公表を行っていることを明らかにする書類（公表先のウェブサイトの画面を印刷した書類等）  ②　(4)の取組における、情報発信を行っていることを明らかにする書類（情報発信内容を確認できるウェブサイトの画面を印刷した書類等）  ③　(1)の取組における企業経営の方向性及び情報処理技術の活用の方向性、(2) の取組における戦略を補足説明するための書類（最新の情報処理技術の変化による影響を踏まえた観点から決定していることを説明する書類等）  ④　(5)～(6)の取組における、実施内容を補足説明するための書類 |

備考．用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。

様式第１６（第４０条関係）（第四面及び第五面）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 情報処理の促進に関する法律施行規則第４１条第２号に掲げる基準による認定を受けようとする場合は、以下についても記載すること。  　(1) データ連携システムの運用及び管理に関する説明   |  |  | | --- | --- | | データ連携システムの目的、概要に関する説明 |  | | データ連携システムの運用及び管理を開始した日 | 年　　月　　日 | | ガイドラインその他の機構が定める文書等の名称 |  | | 開発、運用及び管理を共同で行うことが合理的であることの説明 |  | | データ連携システムにおいてデータ流通機能及び連携サービス機能を有することの説明 |  |   (2) 利用者に対するデータの管理に関する事項の開示   |  |  | | --- | --- | | 文書等の名称 |  | | 記載箇所・ページ |  | | 実施内容 |  |   　(3) データ連携システムの安全性及び信頼性の確保のために必要な措置の継続的な実施   |  |  | | --- | --- | | 文書等の名称 |  | | 記載箇所・ページ |  | | 実施内容 |  |   　(4) データ連携システムに接続する情報処理システムの安全性及び信頼性を確保されていることを確認するために必要な措置の継続的な実施   |  |  | | --- | --- | | 文書等の名称 |  | | 記載箇所・ページ |  | | 実施内容 |  |   　(5) 他のデータ連携システムとの相互の連携を確保するためにデータ連携システムが準拠する基準の公表   |  |  | | --- | --- | | 公表媒体（文書等）の名称 |  | | 準拠する基準に対してデータ連携システムで機能を整備していることの説明 |  |   　(6) データ連携システムに係る事業の実施に必要な経営の安定性及び経営資源の確保   |  |  | | --- | --- | | 経営の安定性の確保に関する説明 |  | | 経営資源の確保に関する説明 |  |   （注）(1)～(6)の取組においては、必要に応じて実施内容を補足説明するための書類を添付するものとする。 |

備考．用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。

様式第１６（第４０条関係）（第六面）

（記載要領）

１．「申請年月日」欄は、経済産業大臣に認定申請書を提出する年月日を記載すること。

２．「住所」欄は、一般事業主が法人の場合にあっては、主たる事務所の所在地を記載すること。

３．一般事業主が法人の場合であって法人番号が記入されている場合は、一般事業主の氏名又は名称、代表者の氏名、住所の記載を省略することができる。

４．申請を行う類型について、該当するものの番号を○で囲むこと。

５．申請内容は正しく記載すること。認定後、虚偽または不正の申請を行ったことが判明した場合には、認定の取消し等所要の措置を講ずることがある。